

平成29年度農業者意向調査 集計結果

資料8

質問	回答	回答数	割合	分母	コメント			
1. 世帯内で農業に従事する方の年代別人数	20代	8	3%	308	従事者は、60代、70代は半分(49%)、40～70代で79%。 1世帯当り2人が従事。(308÷150)			
	30代	26	8%					
	40代	33	11%					
	50代	58	19%					
	60代	83	27%					
	70代	68	22%					
	70代以上	32	10%					
	20代	0	0%					
	30代	4	5%					
	40代	5	6%					
1-2. 主な従事者の年代	50代	15	18%	83	主な従事者は、60代、70代が中心(64%)である。			
	60代	28	34%					
	70代	25	30%					
	70代以上	6	7%					
	パートアルバイト	44	28%					
	ボランティア	101	65%					
	その他	11	7%					
	総面積	27,508						
	生産緑地	22,958						
	宅地化農地	2,785						
3-2. 特定生産緑地の指定について	希望する	58	45%	129	「希望する」と「未定」がほぼ同数。10%以上が「希望しない」			
	希望しない	14	11%					
	未定	57	44%					
4. 宅地化農地の生産緑地指定について	今後生産緑地の指定を希望する	26	41%	63	回答のあった63軒のうち、4割の所有者が生産緑地の指定を希望している。			
	生産緑地の指定は希望しない	37	59%					
	(1)なし	18	13%					
	(2)1～49万	38	28%					
	(3)50～99万	17	12%					
	(4)100～299万	30	22%					
	(5)300～499万	12	9%					
	(6)500～999万	18	13%					
	(7)1,000～1,999万	4	3%					
	(8)2,000万以上	0	0%					
5. 平成28年度中のおおよその農業に関する収入	(1)市場	1,157	10%	137	農業に関する収入はおおよそ300万円未満が75%であった。			
	(2)共同直売所	714	6%					
	(3)庭先直売	5,747	51%					
	(4)スーパー、小売店、レストラン等	912	8%					
	(5)学校給食	220	2%					
	(6)注文発送	878	8%					
	(7)農業体験農園等	375	3%					
	(8)その他	1,299	11%					
	(1)野菜	83	60%					
	(2)花卉	8	6%					
7. 販売額の多い生産物	(3)榎木	20	14%	138	順位は1野菜、2果樹、3榎木、4花卉であった。			
	(4)果樹	21	15%					
	(5)その他	6	4%					
	(1)希望する	13	12%					
	(2)希望しない	95	88%					
	8. 学校給食への出荷について	(1)受け入れている	11			10%	108	9割が希望していない。
		(2)受け入れていない	104			90%		
		(1)後継者がすでに就農している	41			29%		
		(2)後継してもらえない見込みがある	28			20%		
		(3)農業を継がせるつもりはない	18			13%		
(4)わからない		40	29%					
(5)後継者はいない		13	9%					
9. 援農ボランティアについて		(1)出荷先の多様化	28	19%	150	援農ボランティアの受け入れは少ない。		
		(2)加工品の開発	15	10%				
		(3)農業体験農園等の経営	10	7%				
	(4)法人化など経営力強化	3	2%					
	(5)農産物のブランド化	19	13%					
	(6)生産技術の向上、新技術の導入	42	28%					
	(7)肥料や機械等のコスト管理	17	11%					
	(8)露地から施設栽培への転換	16	11%					
	(9)エコ農産物など安心安全な生産物生産	32	21%					
	(10)その他	0	0%					
11. 今後取り組んでいきたい事(複数回答)	(1)特にならない	56	37%	238	(150を分母として割合を算出) (11)、(6)、(9)、(1)の順に多い。			
	(1)販売価格の低迷	42	26%					
	(2)後継者の確保	32	21%					
	(3)固定資産税の負担	65	43%					
	(4)相続時の税負担	103	69%					
	(5)鳥獣害や畜病虫の発生	42	28%					
	(6)労働力の確保	29	19%					
	(7)資材などのコストの負担	21	14%					
	(8)周囲の宅地化による営農環境の悪化	53	35%					
	(9)農地の規模拡大が出来ない	6	4%					
12. 農業経営の課題(複数回答)	(10)制度上の問題(農地に設置できない施設等)	6	4%	404	(150を分母として割合を算出) 相続税を課題と感じている農業者が大変多い。次も固定資産税。 35%が営農環境の悪化をあげている。 課題への回答数が404件と多かった。			
	(11)特にならない	5	3%					
	(1)新たな施設や機械の導入支援	43	29%					
	(2)農地の土壌改良や基盤整備への支援	14	9%					
	(3)農業資材の購入への補助	52	35%					
	(4)農地あっせんなど規模拡大に対する支援	8	5%					
	(5)農産物PRや消費者動向等の情報提供	23	15%					
	(6)地域住民に農業理解を深めもらう取り組み	53	35%					
	(7)農地制度や税金関係セミナー、相談会開催	38	25%					
	(8)労働力不足に対する支援	33	22%					
13. 農業者への支援について(重要と思うもの3つ)	(9)農業後継者の確保や育成に関する支援	30	20%	296	(150を分母として割合を算出) 意見が分かれている。(4)規模拡大は少ない。			
	(10)その他	2	1%					
	(1)これまでの事業内容を継続	79	63%					
	(2)事業内容の見直しが必要	5	4%					
	(3)事業を知らない、関心がない	41	33%					
	(1)農業のPRに関する事	49	33%					
	(2)障害者、高齢者等の福祉に関する事	23	15%					
	(3)災害時の協力など防災に関する事	70	47%					
	(4)環境に関する事	69	46%					
	(5)健康に関する事	39	26%					
14. めぐみちゃんメニュー事業について	(6)子育てに関する事	19	13%	301	(150を分母として割合を算出) 防災(47%)、環境(46%)との回答が多かった。			
	(7)教育に関する事	31	21%					
	(8)その他	1	1%					
	(1)これまでの事業内容を継続	79	63%					
	(2)事業内容の見直しが必要	5	4%					
	(3)事業を知らない、関心がない	41	33%					
	(1)農業のPRに関する事	49	33%					
	(2)障害者、高齢者等の福祉に関する事	23	15%					
	(3)災害時の協力など防災に関する事	70	47%					
	(4)環境に関する事	69	46%					
15. 都市農地事業で興味のあるもの(複数回答)	(5)健康に関する事	39	26%	301	(150を分母として割合を算出) 防災(47%)、環境(46%)との回答が多かった。			
	(6)子育てに関する事	19	13%					
	(7)教育に関する事	31	21%					
	(8)その他	1	1%					
	(1)これまでの事業内容を継続	79	63%					
	(2)事業内容の見直しが必要	5	4%					
	(3)事業を知らない、関心がない	41	33%					
	(1)農業のPRに関する事	49	33%					
	(2)障害者、高齢者等の福祉に関する事	23	15%					
	(3)災害時の協力など防災に関する事	70	47%					
(4)環境に関する事	69	46%						

※アンケート回答総数150人

※割合を平均している。